

第 2 3 章

衛 生

第 23 章 衛 生

医療施設・病床の概況

平成 13 年度の医療施設総数は 1 万 3368 施設で、前年に比べ 200 施設の増加である。これを種類別にみると、病院総数は 575 施設で、そのうち一般病院が 534 施設(構成比 92.9%)で大半を占め、以下精神病院 40 施設、結核療養所 1 施設の順となっている。なお、人口 10 万対の病院総数は 6.5、一般病院で 6.1、1 施設当たりの人口は、病院総数で 1 万 5332 人、一般病院で 1 万 6509 人である。また、一般診療所数は 7699 施設で、前年と比較すると 112 施設の増加、人口 10 万対の一般診療所数は 87.3 で、1 診療所当たりの人口は 1145 人である。歯科診療所数は 5094 施設で、前年に比べ 90 施設の増加、人口 10 万対の歯科診療所数は 57.8 で、1 診療所当たりの人口は 1731 人である。

全施設の病床数は 12 万 0847 床で、前年に比べ 722 床の減少である。人口 10 万対の病床数は 1371 床で、全病床数のうち 95.2% が病院、4.8% が一般診療所の病床(5760 床)である。また、病院病床の種類別では、その他病床が 9 万 0773 床で最も多く、以下、精神病床が 2 万 502 床、結核病床が 2549 床の順となっている。

死亡の概況

平成 14 年中の府内の死亡数は 6 万 2099 人で、8 分 28 秒に 1 人亡くなったことになる。人口千対の死亡率は 7.0 で全国の 7.7 と比較すると低い方である。

主要死因別の順位を見ると、第 1 位は悪性新生物 2 万 1325 人

(構成比 34.3%)、以下、心疾患 9222 人(14.9%)、脳血管疾患 6565 人(同 10.6%)、肺炎 5672 人(同 9.1%)、自殺 2144 人(同 3.5%)の順となっている。

感染症・食中毒・結核患者数の概況

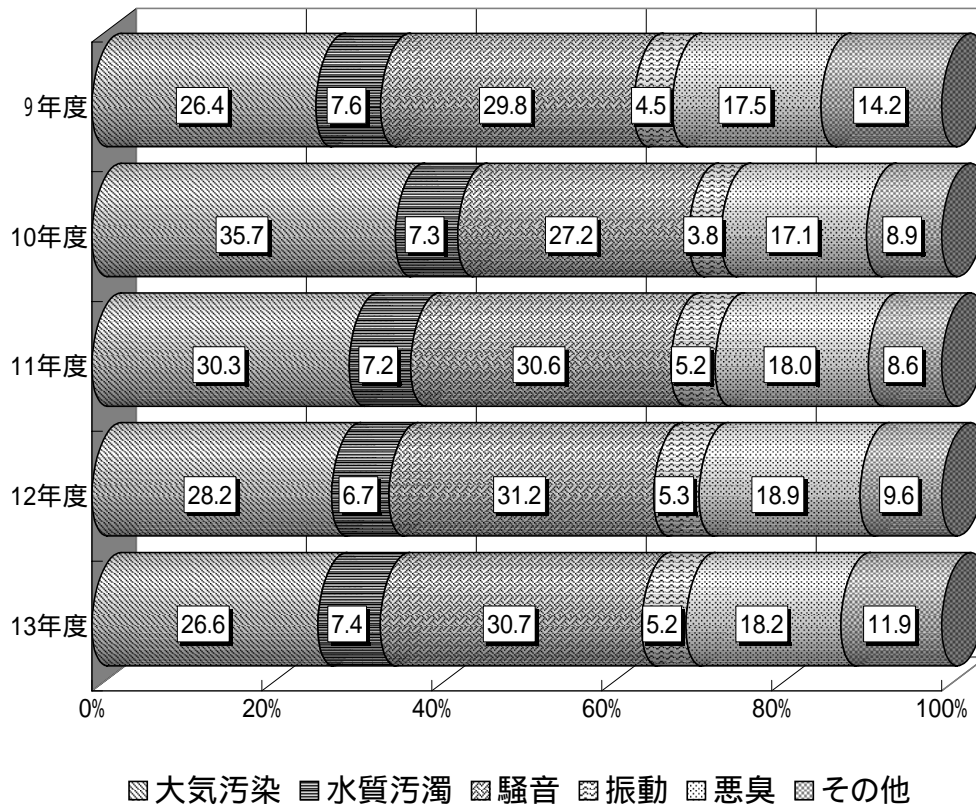
平成 14 年中で最も患者数が多いのは、結核患者 4156 人で 246 人が死亡している。次いで食中毒患者 1073 人、腸管出血性大腸菌感染症患者 221 人の順になっている。

公害の現状

府内の環境問題については、依然として都市・生活型公害や廃棄物の克服が課題であり、また、二酸化炭素の大量排出に伴う地球温暖化現象に代表されるように、ダイオキシン類等有害化学物質問題等、多様化・複雑化した諸問題への対応が求められている。一方、緑豊かな生活環境の実現や個性を生かした都市景観の創造、さらには文化や伝統も視野にいれた、より質の高い環境を保持し創造していかなければならない状況にある。

なお、平成 13 年度の本府及び市町村が新規に直接受理した公害苦情件数は 4913 件で、前年度に比べ 191 件(3.7%)の減少となった。このうち騒音に関するものが 1510 件(構成比 30.7%)で最も多く、以下、大気汚染 1306 件(同 26.6%)、悪臭 896 件(同 18.2%)の順となっている。

公害の苦情件数割合の推移



主要死因別死亡割合（平成14年）

